

(新型コロナウイルス感染をめぐる状況は、日々変化しています。最新の情勢を把握して、市民感情にも留意しながら、宣伝しましょう。また、5月3日の行事については、各地方の事情に応じて、呼びかけをお願いします。)

みなさん、私たちは、労働組合や中小業者、農民、女性、医療、法律団体などが力をあわせて、憲法を守り生かそうと運動をすすめている「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。安倍政権による9条改憲を許さないために、「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染拡大で「緊急事態宣言」が出されてから、約1か月が経過しました。感染者は増え続け、犠牲者の悲しい知らせが届くなど、多くの方が不安な毎日を過ごされていることと思います。医療機関はぎりぎりの努力を迫られ、私たちの日常生活にも外出自粛などでさまざまな混乱がもたらされています。

いま国会では、コロナウイルス対策の補正予算案が審議されています()が、残念ながら不十分なものと言わざるをえません。政府は野党や各分野の専門家の提案に耳を傾け、休業を強いられる人たちへの補償、医療機関への財政支援などを思い切って拡充するべきではないでしょうか。

これまで、政府によって、病院や保健所の統廃合が全国で進められてきました。人の命よりも利益や効率を優先し、病院を減らしてきたことの問題が、いま大きく問われています。憲法25条は、「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と高らかに宣言しています。私たちが健康に生きられるように、国は、公衆衛生や社会福祉を向上させなければならないことも明記しています。抜本的な医療対策で、医療崩壊をくい止めようと声を上げましょう。

憲法25条は、文化を守ることも明記しています。ドイツの文化大臣は、「文化は生命維持のためにも必要だ」としてキャンセルされたコンサートや演劇に携わった人たちに補償を行っています。いま、ここで文化関係者に支援の手を差し伸べなければ、文化が滅んでしまいます。

休業要請や外出の自粛要請に、多くの方が協力しています。それなのに、「損失が出て、自己責任」という政府の態度では、今の生活を維持することすらできません。イギリスでは、労働者も自営業者もフリーランスも、所得の8割を補償されています。憲法29条にも、「正当な補償が必要だ」と書かれています。「自粛要請と補償は一体に」の声を上げていきましょう。

さて、このような情勢の中で、今年も5月3日の憲法記念日がめぐってきました。(各地の状況に応じて・・・私たちはここ数年、安倍首相による憲法9条改悪をストップさせようと、有明防災公園で6万人規模の「5.3憲法集会」を開催してきました。) 今年も新型コロナウイルスの感染を防ぐため、大規模な集会はできませんが、平和憲法を守りたいという声がかき消されることがないように、全国各地で宣伝や署名活動に取り組んでいます。ぜひご協力をお願いいたします。

安倍首相と自民党は、コロナウイルス感染が「緊急事態」にいたった今も改憲議論を進めることにこだわり、国会の憲法審査会で自民党の憲法改正案を議論させようと、執拗に画策しています。しかし、世論調査の結果はどれをみても「9条改憲は必要ない」が半数を超えています。与野党が協力してコロナ対策に全力で取り組むことが求められている今の国会で、国民の多くが望まず、与党議員の間でさえ意見の隔たりが大きい改憲案の議論を強引に進めることは、国政の優先順位を全く見失った迷走です。いま、必要なのは、憲法の理念を実現するコロナ対策であり、憲法を変えることではありません。大きな世論で、安倍改憲をストップさせましょう。

そもそも自民党の改憲案は、自衛隊を9条に明記することで「戦力を保持しない」と定めた現在の条文の制約を免れ、米軍と一体に海外での戦争に参加できるようにすることがねらいです。現行の憲法が存在しているもとでもすでに、ステルス戦闘機 F35の大量配備、護衛艦「いずも」の空母化、ミサイル迎撃システム＝イージス・アショアの導入など、アメリカ言いなりの大軍拡が着々と進められ、先に成立した2020年度の本予算では、防衛予算は5兆3,000億円を超えて過去最高額を更新しています。また、沖縄県民の声を踏みにじって、完成の見込みのない辺野古新基地の建設に湯水のように税金を投入しようとしています。9条改憲を許せば、このような大軍拡にいよいよ歯止めがかからなくなってしまいます。

いま、アメリカと中国は、アジア・太平洋地域での覇権を激しく争っています。地理的にその最前線に位置している日本が、アメリカの軍備増強に一方的に荷担することは、この地域の緊張をいっそう高めるばかりか、万一の武力衝突が起こった際に、日本を戦場にする危険を呼び込むのもです。

新型コロナウイルスへの国民の不安に真剣に向き合わず、軍拡競争に熱中する安倍政権をこのまま続けさせていては、私たちの命と暮らしは守れません。

国会内では、新型コロナウイルス対策をめぐって野党が積極的な提案をして奮闘しています。野党と市民が力を合わせ、命と暮らしをまもる抜本的な対策を実現させましょう。そして、「二度と戦争しない」と決めた憲法9条を守り、憲法が生きる社会、誰もが安心して暮らせる社会を実現しましょう。

そうしたみなさんの願いを「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」に寄せてください。よろしくお願いいたします。